

2. 東北（地域別調査機関：公益財団法人東北活性化研究センター）

（－：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (東北)	◎	観光型旅館（スタッフ）	・いよいよ若い世代でもワクチン接種のスケジュールについて話題が出てきた。ワクチン接種済みの世代が広がり、行動範囲が広がると予測される。
	○	商店街（代表者）	・ワクチン接種拡大により新型コロナウイルスの感染が収束することを期待している。
	○	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・暑さに加えて、ワクチン接種が増えていけば、客も少し安心して、今まで出てこなかった人も出てくるのではないかと期待している。
	○	百貨店（売場主任）	・ワクチン接種が若年層にも進むにつれ需要が上向くと考える。
	○	百貨店（経営者）	・数か月後にワクチン接種が進んでいることを前提に、消費意欲は上向きになってくる。ただし、モノ消費から旅行などのコト消費へも拡大していくことから、回復する速度は期待するほど早くはないとみている。
	○	スーパー（経営者）	・ワクチン接種が進み、出歩きやすい状況になるとみている。
	○	コンビニ（経営者）	・ワクチン接種が進むので景気は少しずつ良くなるとみている。
	○	コンビニ（エリア担当）	・ワクチン接種が進めば、週末の来客数上昇が見込める。
	○	コンビニ（エリア担当）	・ワクチン接種も進むため、購買意欲が増すと予測される。
	○	コンビニ（エリア担当）	・ワクチン接種が進むことで景気は改善に向かうとみられるが、人の動きがアウトドアからリモートワーク等インドアに向いていることから、コロナ禍前の状況に戻ることは難しいと考える。
	○	衣料品専門店（経営者）	・全国的にワクチン接種が進み、出掛けられる状況になり、秋冬物の立ち上がりで少しずつ活気が出てくるとみている。
	○	衣料品専門店（経営者）	・ワクチン接種が進み人の動きが出てくれば、徐々に景気回復していくと予測する。
	○	家電量販店（店長）	・ワクチン接種が高齢者を中心に完了し、若者の接種も始まっている。それにより客の購買意欲も増してくるとみられる。今のところマスクをした状態で買物していただくといった環境は変わらないが、今後、客の楽観的な購買意欲が増してくると思われる。
	○	家電量販店（店長）	・今の状況は隣接市が発行したプレミアム付商品券の影響が少なからず出ている。終了時は回復すると予想している。
	○	住関連専門店（経営者）	・受注生産をしているが、受注営業により2～3か月後の生産量を確保しているので今よりはやや上向く。
	○	観光型ホテル（スタッフ）	・ワクチン接種が終了次第、宿泊希望の客足は伸びるとみている。
	○	観光型旅館（経営者）	・感染者数の増減で変わるが、ワクチン接種も進んでくるので今よりは良くなるとみている。
	○	観光名所（職員）	・2～3か月後の景気であれば若干上向いてくるとみている。ワクチン接種が進み、外を出歩きたいという客がどんどん増えてくる。また、今まではリスク回避が主であったが、ある程度のリスクを覚悟しながら出歩くという人も増えているようである。
	□	商店街（代表者）	・秋になってもワクチン接種は進まず、地元の行事はまだまだ自粛が続くとみている。
□	一般小売店〔書籍〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染がこれ以上拡大しなければ東京オリンピック終了後は景気が良くなると予想する。しかし、非常に悲観的な状況なので更に厳しさが続くとみている。	
□	一般小売店〔酒〕（経営者）	・今月は東京オリンピックや暑さなど、少し上向きになるような要因がある。しかし、この先また新型コロナウイルスのネガティブな報道ばかりを耳にすることを考えると期待はできない。現状維持をしていくのがやっとなのである。	
□	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・来客数が少なくなっているのは、同業者間の競争が激しくなっているためとみられ、値下げ競争とは関係ない品物の売行きは落ちていない。景気の地力はそれほど弱くはないとみている。	

<input type="checkbox"/>	一般小売店〔寝具〕（経営者）	・新型コロナウイルスにより、飲食業はもとより観光業にまで影を落としており、夏の盛りにいたたまれない。地元で活気が出て潤わないことには、当業種に目を向けてもらうことも難しい。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・ワクチン接種も進み、安心感が出てくるとともに人の動きが出てくる可能性はある。しかし、現在の来客数や購入量の動きからは、購買動向への積極的な変化はみられない。
<input type="checkbox"/>	百貨店（買付担当）	・今のところワクチン接種以外に好転する要素は見当たらない。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・来客数と客単価の減少が続いている。ワクチン接種の進捗率も関連しているとみている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（企画担当）	・いまだコロナ禍は続いている。前年ほどではないが、食品小売業に関してはまだ高水準で売上をキープしている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・ワクチンへの期待にはなるが、ベースとなる客単価や買上点数は堅調でプラスに推移しているため、人の流れ次第である。日中の売上は戻っているが、夜間の動きがまだ戻らない状況が続いている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・ワクチン接種が進めば人の動きも少し活発になってくる。しかし、変異株の影響で人の動きが鈍いようなので、2～3か月後もそれほど期待はできない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルスの影響がいつまで続くのか分からない。景気が良くなるのはまだ先になるとみている。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染者数が減少に転じるまで状況は変わらないと推測される。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・東京オリンピック開催も本県には関係なく売上には結び付かず困惑している。お中元商戦も前年割れの状態である。飲食業では酒類の売上は前年の5割減である。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・2～3か月の間では帰省客を中心としたお盆マーケットがある。高齢者のワクチン接種が終わり、おじいちゃんおばあちゃんのところに行ってもいいねという空気になっていたのだが、首都圏での感染者数増加によって、また閉鎖的な8～9月を迎えるのではないかと危惧している。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・東京オリンピック後の第5波の感染状況から再び消費に慎重になる客が多くなる反面、ワクチン接種が進み、少しずつ消費に前向きな客が増えてくると予想される。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（総務担当）	・コロナ禍のなか同じすう勢であり、収束の兆しが見えるまでは同じ状況が続くと考えられる。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・ボーナスが出たり東京オリンピックが始まったりして景気が良くなるかと思ったが、販売量がなかなか増えない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・新型車効果もあり受注量は増えてきてはいるが、半導体の問題もあり長納期の車種もある。生産調整等もあるので、受注が売上に反映されるまでに時間が掛かる。現状維持が精一杯である。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（店長）	・サービスを含んだバリューチェーンの業績が前年並みをキープできているので、新車納期の改善が待たれる。
<input type="checkbox"/>	自動車備品販売店（経営者）	・秋の紅葉シーズンになるが、ワクチン接種が進まないなか感染者数も急増しており、見通しが立たない。
<input type="checkbox"/>	住関連専門店（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスの影響が多岐である。感染者数も増えてきているので、急激に回復するということはあり得ない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔靴〕（従業員）	・ワクチンの接種が増えていくが、東京オリンピックによる新型コロナウイルス感染者数の増加が懸念される。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔白衣・ユニフォーム〕（営業担当）	・ワクチン接種で多少は人流が戻るかとは思いますが、それでも通常に戻るにはかなりの時間が掛かるとみている。また、閉店してしまった店も相当数あるようなのでとにかく制服に関しては良い材料がない。今後はスタッフの数も減ってくることが予想されるので余計に不安である。
<input type="checkbox"/>	その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・新型コロナウイルスの感染状況と日常生活のせめぎ合いになると思われるが、このままの状態であれば、何とか景気を維持しながら進めていくことになるかと考える。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（経営者）	・新型コロナウイルスの感染がある程度の収束を見ない限り、業界が良くなることも店が良くなることもあり得ない。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（スタッフ）	・グループ、複数での宴会、食事は現状見込めない。宴会場の使い方を抜本的に変えなければならない。

□	一般レストラン（経営者）	・しばらく前だとワクチン接種が進めば来客数も自然と増えるのではないかと期待していたが、ここに来て感染者数が過去最多を更新したこともあり、今しばらくは客が来られない状況が続くのではないかと予想している。年内は厳しいのではないかとみている。
□	観光型ホテル（スタッフ）	・東京オリンピックの開催中は国民感情的に動こうとは思わないのではないかと。
□	旅行代理店（従業員）	・夏休みだというのに新型コロナウイルスの感染者数も増加傾向であり、旅行に行く雰囲気になくなっていない。
□	旅行代理店（従業員）	・ワクチン接種は順調に拡大傾向にあるものの、年初に描いた下期以後徐々に海外旅行が段階的に緩和のシナリオは依然全く描けない状況である。加えて、国内旅行においても不透明感がぬぐえず、大変厳しい状況である。秋口以後に、より力強い回復の兆しが出てくるものと想定し各種施策を実施、展開中である。
□	タクシー運転手	・一度慣れてしまった生活環境は急に変えることができないと考える。消費が活性化するには時間が必要なので、一般市民の動向から判断すると景気は変わらないと推察できる。
□	通信会社（営業担当）	・好転する材料に乏しく、現状のまま変わらないとみている。
□	通信会社（営業担当）	・ワクチン効果が出始める期待感はあるものの、東京オリンピック後の新型コロナウイルスの感染拡大の見方もあり、何ともいえない。
□	通信会社（営業担当）	・放送サービスの契約者は、東京オリンピック需要もあり底上げされた分、2～3か月後にはその反動で減少すると予想される。人流が一気に増えていき外出者数の増加が見込まれるため、自宅利用でのWi-Fiを中心とした通信サービスも大きな増加は期待できない。ただ、新規サービスエリアの拡大があるので若干の加入者が期待される。
□	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染が収まりそうにない。
□	テーマパーク（職員）	・現在の来客数に東京オリンピックや緊急事態宣言の影響はなく、やや良い状況である。しかし、修学旅行シーズンになると新型コロナウイルスの感染者数に左右されるので、また以前の状況に戻るとみている。
□	遊園地（経営者）	・東京オリンピック後の新型コロナウイルスの感染状況次第だが、レジャーへの影響が非常に心配される。ワクチン接種が進むことに期待するしかない。
□	競艇場（職員）	・ほとんどのイベントが中止になっているので、来場を促進することができない。
□	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染者数は増加傾向にあるが、ワクチンの接種率によって大分変わってくる。そう考えると、3か月後くらいでは大幅な改善は厳しいので、しばらくは現状が続くとみている。
□	美容室（経営者）	・固定客が決まったサイクルで来店するので変わらない。
□	住宅販売会社（経営者）	・住宅受注は相変わらず低迷しているが、賃貸への投資客がおり、鉄筋コンクリート造りの集合住宅の受注が続いている。
□	その他住宅〔リフォーム〕（従業員）	・住宅設備機器は特別定額給付金の給付の効果がみられた前年のような状況は見込めない。リフォームは大型工事の問合せが少し増えてきている。
▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染者数が増える限りは悪くなる。この先の予約数等をもみても増える様子がない。
▲	商店街（代表者）	・ワクチンの接種が全体的に遅れ、変異株等により新型コロナウイルス感染者数が県内でも増加傾向にある。景気回復には時間を要する。
▲	スーパー（経営者）	・8月は変異株の感染拡大のスピードが高まり、来店頻度も低下するのではないかと危惧している。ワクチン接種スピードも鈍化しているので、この消費の低迷はこれまで同様にしばらく続くものとみている。
▲	スーパー（店長）	・ワクチンの接種率がどの程度増加しているかが買物動向にも影響してくるとみている。それゆえに2～3か月後の予測は立てにくい。
▲	スーパー（店長）	・東京オリンピック、夏休み、お盆の期間の売上への影響は前年よりもあるが、以降はまた落ち着くとみている。

▲	スーパー（営業担当）	・前年もコロナ禍でのお盆、夏休みであったが、今年の帰省も新幹線予約状況は通年の25%程度である。内食需要で伸長した生鮮も陰りが出ているなど、全体的にはやや悪くなる要素が大きくなっている。
▲	スーパー（営業担当）	・お盆の帰省は少ない。東京オリンピック後の緊縮財政、新型コロナウイルス感染者数の増加状況によっては巣籠りが拡大してきているのではないかとみている。
▲	コンビニ（店長）	・東京オリンピックが開催されていることは良いとしても、恐らく感染拡大は8月一杯続き、感染者数は過去にないくらいの数字になるのではないかとみている。2～3か月先はその収束によるし、ワクチン接種も進むと思うが、今の時点では良くなるとは考えにくく、むしろ悪くなっていくのではないかとみている。
▲	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス感染者数の増加が懸念され、緊急事態宣言の解除が難しい。
▲	家電量販店（従業員）	・東京オリンピックに対する特需が徐々に少なくなってきて、8月を超えるとほぼなくなってしまう。
▲	乗用車販売店（従業員）	・現在、販売量、売上に大きく影響は出ていないが、一時工場閉鎖等があり、今後納期に影響が出てくるため、年末の売上台数に多少不安がある。
▲	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染再拡大により、今以上に販売量は落ちると予想される。
▲	その他専門店〔ガソリンスタンド〕（営業担当）	・県内での新型コロナウイルス感染者数も増えており、自粛規制が発動されて景気にも影響があるのではないかとみている。
▲	旅行代理店（従業員）	・夏休みでの売上が伸びず、秋シーズンの売上が仮に伸びたとしても夏休みの売上減少分をカバーするには到底追いつかない状況であり、旅行業としての景気は現状よりも悪化傾向にある。前年度はGo To Travelキャンペーンにより売上減少の補填があったものの、このまま予約状況が回復しないとすれば前年度を大きく下回る結果になる。
▲	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響はまだまだ続くとみている。雇用の悪化と、小売業、観光業の先行き不透明から、消費動向はまだまだ下がり気味の状況が続くとみている。また、最低賃金の引上げにより経営者の負担が増すことで残業カットになれば、実質賃金は不透明になる。
▲	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染拡大が続く。特に東京オリンピックも開催され人流が増加し、東京隣接県も含め右肩上がりに推移している。ワクチン接種の効果で感染者数が激減するまでは当面景気は悪くなる方向に行く。
▲	その他サービス〔自動車整備業〕（経営者）	・東京オリンピックを機に上向くかと期待していたが、コロナ禍の危機は拡大するばかりである。頼みのワクチン接種も進んでいない状況では、秋に向けてもっと悪くなるのではないかと不安が募る。
▲	設計事務所（経営者）	・新型コロナウイルスの終息が見えない。ウッドショックによる木材の継続的な高騰を考えると景気の改善は難しいとみている。
▲	その他住宅〔住宅展示場運営会社〕（従業員）	・新型コロナウイルスの感染拡大の影響から、住宅購入を検討する新規来場者の動きが鈍化するとみている。
×	商店街（代表者）	・現在の東京の感染者数をみると地方でも感染者数が増えることが懸念される。
×	一般小売店〔医薬品〕（経営者）	・現在の東京の状況をみていると、東京オリンピックの終了後は新型コロナウイルス感染者数が拡大することが予想されるので、再び街の経済は暗闇に突入すると考える。
×	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルスの第5波が地方にも波及し、なおかつ人流が止まることによって、客の買い控えが起こる。
×	コンビニ（経営者）	・最低賃金のアップが発表されたが、28円アップすると経営的にかなり厳しくなる。本部も無策だろうし、あとどこを削ればいいのか分からない。ワンオペやオーナーの長時間労働が更に増えてくるのではないだろうか。当然店のレベルやサービスは下がる。それを本部は許してくれるのだろうか。辞めていくオーナーも増えると思う。コンビニのフランチャイズパッケージも限界がきている。

		その他専門店〔酒〕（経営者）	・予想はしていたが、東京オリンピック・パラリンピックで感染者が激増している。ワクチン接種が進んだとしても2～3か月で状況が収まるとは思えない。政府の取引停止等の外れな対応ではなく、地元自治体も含め、理屈の通った現実的な対策がなければ期待できないと考える。
		一般レストラン（経営者）	・ワクチン接種の広がりが一番の景気の回復かと思うが、今年一杯は期待できない。
		一般レストラン（経営者）	・新型コロナウイルス感染者数がどんどん増えてきている。このような状態が続くと、また緊急事態宣言が続くので、良い流れになるとは思えない。
		一般レストラン（経営者）	・東京オリンピックが感染を拡大させているかは判断が難しいが、人の動きが活性化すると新型コロナウイルス感染者数が爆発的に増えているのは間違いない。現在の部分的な制限だけでは押さえ込むのは無理なので景気は下がるしかない。
		タクシー運転手	・新型コロナウイルスの変異株が出てきているが、今の時点で収束がはっきりしない点が気になる。今後の政府の対策なり動向を注視していく必要がある。
企業 動向 関連 (東北)	◎	建設業（企画担当）	・今の景気の下振れリスクについては、新型コロナウイルス感染症の拡大いかんである。ただ、ワクチン接種は進んでおり、東京オリンピックも始まっているので、これで感染症が落ち着いてきたらそれを契機に上向くものとみている。
	○	食料品製造業（営業担当）	・プライベートブランド商品の依頼が前年より多い。1つ1つの売上規模は小さいが、良い方向へ動きつつあるように感じている。
	○	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・ワクチン接種に期待している。
	○	金属製品製造業（経営者）	・受注予測に明るさが出てきている。
	○	通信業（営業担当）	・人気の機種の新発売の時期のため、購入者が増える見込みである。
	○	金融業（広報担当）	・一次産品の出荷量がピークを迎える時期である。また、ワクチン接種率アップによる国内観光ニーズの高まりが期待できる。
	○	広告業協会（役員）	・ワクチン接種が順調に進み、生活するなかでの安心感が生まれる状態になれば、購買意欲も活発になり、販売促進費の増大が期待できる。
	○	広告代理店（経営者）	・ワクチン接種が更に進めば、経済にも変化が出てくることが予想される。
	○	公認会計士	・建設関係の業績が少し悪くなっているのが心配なところはあるが、ワクチン接種が進めばサービス業、小売、飲食関係の需要が回復し、全体として景気回復が進むとみている。
	○	その他非製造業〔飲食料品卸売業〕（経営者）	・東京オリンピックが何事もなく成功裏に終われば通常の生活に戻る。それと同時にワクチン接種が進めば、良くなるのは当然である。
	□	農林水産業（従業者）	・ものの最盛期が前年より4～5日早くなり、梅雨が明けてからの天候も心配していたよりも良かったので、品質が良く期待が持てる状況である。単価が良くなると予想している。
	□	食料品製造業（経営者）	・新型コロナウイルス感染の再拡大次第でどうなるか先が見えない。緊急事態宣言が再度出たりすると売上はまた減少する。いつまで繰り返すのだろうか。
	□	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・東京オリンピックは一部を除き無観客で開催されており、景気浮揚の起爆剤には程遠い。夏の花火大会や、祭りも自粛傾向が強く、ワクチン接種の進捗もここに来て足止め状態である。景気が良くなる実感が無い。
	□	電気機械器具製造業（企画担当）	・東京オリンピックが始まったが、景気に大きく影響するような変化はないとみている。クリスマス商戦が近づくころには変化が現れると予想している。
	□	建設業（従業者）	・現状では想定される変動要因で大きなものは見込めない状況である。
□	輸送業（経営者）	・新型コロナウイルスの感染は既に第5波に入ったといわれ、新型コロナウイルス感染症対策専門家は、8月はまだまだ増えるとの予想をしている。このような状況だと少なくとも8～9月は景気が良くなるとは思えない。	
□	通信業（営業担当）	・新規契約につながらなくても、様々な形で客に寄り添う姿勢で接していくのみである。	

	□	金融業（営業担当）	・ワクチン接種が進むまでは厳しい状況が続くことが見込まれる。
	□	広告代理店（経営者）	・引き続きイベント関連業務の中止等の懸念がある。
	□	経営コンサルタント	・ワクチン接種の停滞もあり、消費マインドが向上かない。
	□	司法書士	・変動要因に欠けるため現状維持が想定される。
	□	その他非製造業〔飲食料 品卸売業〕（経営者）	・ワクチン接種の広がりが鍵とみるが、若年層にまで接種が広がるには、年内一杯掛かるのではないかと予想している。
	□	その他企業〔企画業〕 （経営者）	・この2か月は地域の景況に明るさがみられたものの、町全体としての呼び込み素材に限度があることから、景況がいま以上に良くなることは考えられない。
	□	その他企業〔協同組合〕 （職員）	・業種、業態により若干の温度差がみられるものの、総じて受注案件、受注量共に大きな変化はみられない。
	▲	農林水産業（従業者）	・ここ最近の降雨不足と高温により、米やその他の作物の生育が悪影響を受けると予想される。
	▲	食料品製造業（営業担 当）	・ここに来てまた新型コロナウイルスの感染者が急増している。観光需要の早期回復を目的とした各施策もしばらくは動かないのではないかとみている。東京オリンピックが終了し、ワクチン接種が進むことで回復することを期待したい。
	▲	窯業・土石製品製造業 （役員）	・公共事業や民間投資の減少により、しばらくは減少傾向が続く見通しである。
	▲	コピーサービス業（従業 員）	・物流関係及び一部仕入商品の値上げの案内がきており、コストアップに頭を悩ませている。販売金額に転嫁していく予定ではあるが、新型コロナウイルスの影響を考えるとそう簡単には上げられない。しばらくは我慢するしかない状況である。
	×	—	—
雇用 関連 (東北)	◎	人材派遣会社（社員）	・某県への長期かつ保険加入の派遣員数が100名の大台に到達している。この長期契約は今後の2～3か月の景気を支える基盤となる。
	◎	新聞社〔求人広告〕（担 当者）	・今後、若年層までワクチン接種が進み、東京オリンピック・パラリンピック終了後も感染拡大が抑えられていれば、人の動きは一気に活発化し経済は動き出すとみている。多くの企業がそのように予測し、そのときの準備をしている。
	○	人材派遣会社（社員）	・求人数は増加傾向にある。募集背景にも前向きに事業を成長させるための計画によるものが増えてきている。
	○	職業安定所（職員）	・大手製造業の工場や大型商業施設の進出が決まり、大量の求人が見込まれる。
	○	職業安定所（職員）	・新規求人数と有効求人数を前年6月と今年の6月で比較すると、新規求人数で約300人、有効求人数で約1100人増加しており、前月に続いて増加傾向がみられる。特に新規求人数は前月より約900人増加している。
	○	職業安定所（職員）	・小さい店舗の廃業がみられるものの、全体としては新型コロナウイルスの影響が収まってきている。東京オリンピック後の感染者数が今後の景気を左右しそうである。製造業における設備投資については上向きな声聞こえる。
	○	学校〔専門学校〕	・ワクチン接種が進むことで、人の動きが増え、イベントや行事の実施が拡大すると予想される。
	□	人材派遣会社（社員）	・新しいビジネスやサービスを開始するなど、飲食店や専門商社、小売といったいろいろな企業が工夫をしていることで、上向きの情報もみられる。しかし、東京オリンピックの開催により感染者数が増えている。プラスとマイナスの要素が相殺されて、それほど変わらない状況がしばらく続くのではないかとみている。
	□	人材派遣会社（社員）	・東京オリンピックが行われることで、人の動きや経済の動きが多少ある。しかし、9月以降は、新型コロナウイルスへの対応や企業の動きによっては採用や増員の考えが少なくなる可能性もあるので、大きな変化は見込めないと考えている。
	□	人材派遣会社（社員）	・新型コロナウイルス感染、東京オリンピック開催の影響、ワクチン接種遅れなど不確定要素が多く見通せない。
	□	人材派遣会社（社員）	・ワクチン接種率は上がってきているが、すぐに景気に影響するとは思えず、現状維持の傾向が続くとみられる。
□	アウトソーシング企業 （社員）	・新型コロナウイルスの終息がみえない限り変わらない。	

□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	・ワクチン接種が進めば経済活動も活発になるが、東京オリンピック開催後の感染拡大が懸念される。
□	職業安定所（職員）	・ワクチン接種が徐々に進んでいても、新型コロナウイルス感染症拡大はまだ収まる気配はなく一進一退が続いている。経済活動にプラスになる勢いをつくにはもう少し時間が掛かるのではないかと。
▲	＊	＊
×	人材派遣会社（社員）	・東京オリンピックの影響から、新型コロナウイルス感染者が更に増えると見込む。結果として、飲食含め観光業界は更なる悪化が想定される。